

# スプリント競技について

## 【スプリント競技の概要】

3年前より ARDF 国際ルールで正式種目となった競技で、2014年の世界大会(カザフスタン)、2015年の Region3 大会(群馬県)でも開催された部門です。この部門の採用によって、従来の ARDF 競技は国際的には「クラシック競技」という名称となりました。

JARL のルール(ARDF 実施方法)では、未だ正式な部門として採用されていませんが、国際ルールに準じた内容で実施を予定しています。(一部ローカルルール有り)

周波数帯は「3.5MHz 帯」のみで、従来の 3.5MHz 帯競技で使用している受信機がそのまま使用できます。

競技エリアの広さは、従来の ARDF の 1/4 ~ 1/5 ほどの狭いエリアとなります。

そこに 5 台 1 セットの TX が 2 セット設置(計 10 台の TX)されており、選手はまず 1 セット目の TX(第 1 ループ)を探索した後に、2 セット目の TX(第 2 ループ)を探索します。

TX から発信される電波は「12 秒」毎に切り替わり、「12 秒× 5 台」= 1 分サイクルで TX は電波を発信していきます。

## 【スプリント競技の実施方法】

一部、Region1 の国際ルールと異なる部分もありますが、機材や運営方法の関係から、以下のような実施方法で開催します。

### (1) スタートについて

従来の ARDF とは異なり、「2 分」毎に選手がスタートしていきます。

- ・ スタート 6 分前・・・選手の呼び出し
- ・ スタート 4 分前・・・競技地図の配付
- ・ スタート 2 分前・・・スタートラインへ移動する

スタート走行コースは従来の ARDF と同じで、スタート直後に受信機のスイッチを入れることができますが、探索行為はコースを出てからになります。

### (2) 競技の進め方について

1 セット目の TX を「TX1 ~ TX5」(第 1 ループ)、2 セット目の TX を「TX1F ~ TX5F」(第 2 ループ)とよびます。

スタート後は、まず第 1 ループの TX を探索します。探索対象となる TX は、従来の ARDF と同様にクラス別に指定されています。

第 1 ループの探索から第 2 ループの探索に移るときには「スペクテーター」を通過しな

ければなりません。スペクテーターからは別周波数で電波が連続送信されていますし、競技地図にも位置が記載されています。またそこには従来の ARDF でも使われるフラッグが設置されています。

スペクテーターをチェックした時点で「第1ループ終了」となり、そこから始まるスペクテーター走行コース(一方通行)を通り、走行コースを出たところで「第2ループの探査開始」となります。

その後は第2ステージの TX を探査します。探査対象となる TX は、従来の ARDF と同様にクラス別に指定されています。

探査を終了してゴールする際は、従来の ARDF と同様にビーコンチェックをしてゴール走行コースを通過してゴールします。

競技制限時間は通常 60 分ほどで定められています。各ループでの時間配分は定められていません。(今大会の競技制限時間は、当日の競技説明にて発表します)

### (3)TX について

第1ループの TX を「TX1 ~ TX5」、第2ループの TX を「TX1F ~ TX5F」とよびます。

スタート地点から 100m 以内に「TX1 ~ TX5, TX1F ~ TX5F」は設置されていません。(スペクテーターとゴールビーコンは、100m 以内に設置されている場合があります)

また各ループにおいて TX は 100m 以上の間隔(競技地図上の直線距離)をもって設置されています。

各 TX には、従来の ARDF で用いられているフラッグは設置されていません。今大会では SI ステーションに TX 番号を明記することで、目視にて TX を識別できるようにします。スペクテーターとゴールビーコンには、従来の ARDF で用いられているフラッグが設置されています。

TX の空中線電力は「0.3 ~ 1W」で(従来の ARDF は 3 ~ 5W です)、電波は水平無指向の垂直偏波です。

### (4)各 TX の周波数と、モールス符号の速さ

- ・第1ループの TX1 ~ TX5      3.52MHz   50PARIS (従来の ARDF と同じ速さ)
- ・スペクテーター              3.54MHz   70PARIS (従来の ARDF より速い)
- ・第2ループの TX1F ~ TX5F   3.57MHz   70PARIS (従来の ARDF より速い)
- ・ゴールビーコン              3.60MHz   50PARIS (従来の ARDF と同じ速さ)

### (5)各 TX の識別符号(モールス符号)

- ・TX1・TX1F は MOE      (— — — — .)
- ・TX2・TX2F は MOI      (— — — — . .)
- ・TX3・TX3F は MOS      (— — — — . . .)
- ・TX4・TX4F は MOH      (— — — — . . . .)
- ・TX5・TX5F は MO5      (— — — — . . . . .)
- ・スペクテーターは MO    (— — — —)
- ・ゴールビーコンは MO    (— — — —)



クして、再度スペクテータを通過(チェック)しても有効とはなりません。また2回目以降のスペクテーター通過によって、有効な第2ループのTXが無効となることもありません。

Q：スペクテーターの走行コースは逆走してもよいでしょうか？

A：スペクテーター走行コースはゴール走行コースと同様に一方通行です。従って逆走禁止です。もし誤って走行コースに侵入してしまった場合は、他の選手を妨害せぬようにすみやかに走行コース外へ出てください。そしてあらためて入口(スペクテーターのチェック・ゴールビーコンのチェック)から入りなおしてください。

Q：スペクテーターのSIステーションをチェックしても走行コースを通らなければ、スペクテーター通過とはならないのではないのでしょうか？

A：スペクテーターのSIから走行コースが始まっていると理解してください。従ってスペクテーターのSIをチェックして走行コースを通らないということは、走行コースの逆走を意味します。この考え方はゴール走行コースも同様です。